

パネル据付説明書

PJF012D032

室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。

警告

- 配線は、確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 元電源を切った後に電気工事をする。
感電、故障や動作不良の原因になります。



機能名称について

機能の名称の意味は下記のとおりです。

- エアフレックス : ドラフト防止機能
- ラクリーナ : エアフィルタ自動昇降機能

お願い <ラクリーナパネルの場合>

- ・吸込グリルの動作範囲の周辺および下方30cm以内に障害物を置かないでください。
- ・電源投入前にパネルを取付けた場合は吸込グリルの昇降動作はできません。
- ・電源投入前に吸込グリルを収納する場合は、付属のクランプで仮固定する事ができます。
- ・電源投入後は付属のクランプを外してあることを確認してから昇降動作を行ってください。
- ・吸込グリル取付け後の初回はリモコンで「上げる」の操作を行い、吸込グリルを正規位置に収納してください。
(マイコンが収納位置を記憶します。)
- ・ワイヤは、折り曲げ、ねじり、噛み込み等により傷ついたり、たばこ等の火が触れないようにしてください。

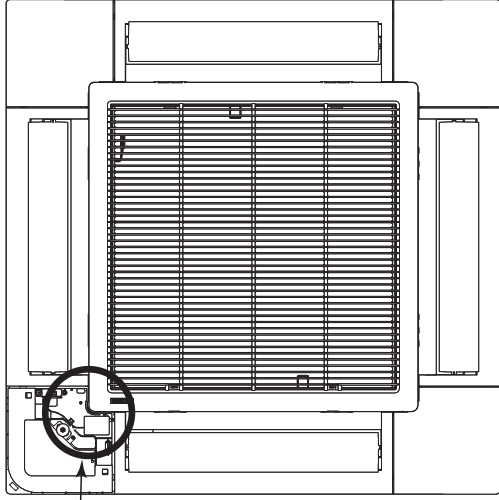
① 据付けの前に

- ・据付けはこの説明書に従って正しく行ってください。
- ・次の項目を確認してください。
 - パネル・リモコンのタイプ
 - 付属品

付属品

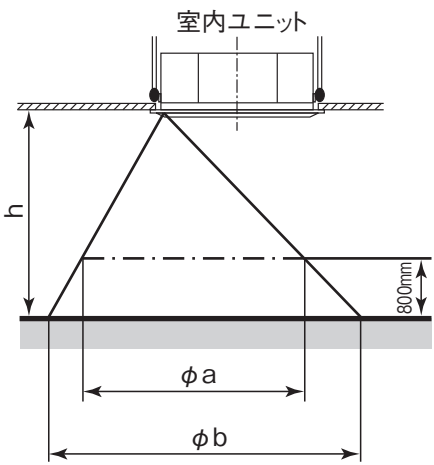
ボルト		4本	パネル取付け用
ストラップ		4本	コーナリッド落下防止用
クランプ		4本	吸込グリル仮止め用 (ラクリーナパネル)
ねじ		4本	コーナリッド固定用*1

注1: *1 ラクリーナパネルの場合、吸込グリル仮止めクランプ固定用にも使用します。
注2: 付属品はコーナリッドを外した位置にあります。



付属品収納位置

人感センサ検知範囲の目安 <エアフレックスパネル、ラクリーナパネル>



天井高さ	h [m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲①	φa [m]	約4.5	約6.4	約7.6
検知範囲②	φb [m]	約6.4	約8.3	約9.5

② 室内ユニットの取付けレベルの確認

- ・室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。
- ・室内ユニットに付属されているレベルゲージで室内ユニット高さ及び天井開口寸法が正しいことを確認してください。
- ・室内ユニットと天井材との取付けレベルを確認してください。
- ・室内ユニット付属のレベルゲージを吹出口にセットし、室内ユニットの吊込み高さを調整してください。
- ・レベルゲージはパネル取付け前に取外してください。

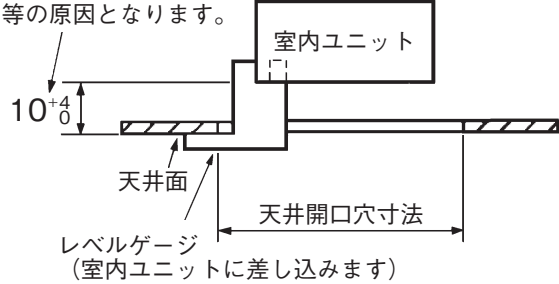
ご注意

室内ユニットと天井材との高さは、パネル取付けの際、パネルに無理な荷重がかからない高さにしてください。
パネルが変形し破損の恐れがあります。

- ・室内ユニットの取付け高さはパネル取付け後、コーナ開口部より微調整ができます。

(詳細は ⑥パネルの取付け をご参照ください。)

必ず10~14の範囲内とすること。
この範囲が守れない場合、
故障等の原因となります。

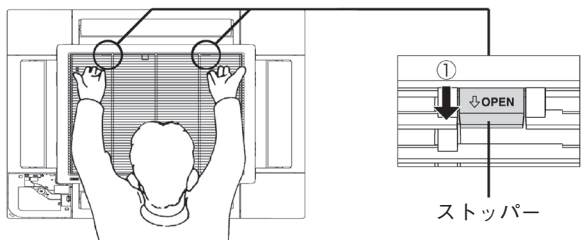


③ 吸込グリルの取外し

<標準パネル、エアフレックスパネルの場合>

1. 吸込グリルのストッパー(2ヶ所)に指をかけて「OPEN」の方向(矢印①)に押したまま吸込グリルを下方へ引くと吸込グリルが開きます。
2. 吸込グリルが開いた状態で吸込グリルのヒンジ部をパネルから外します。

(取外し)

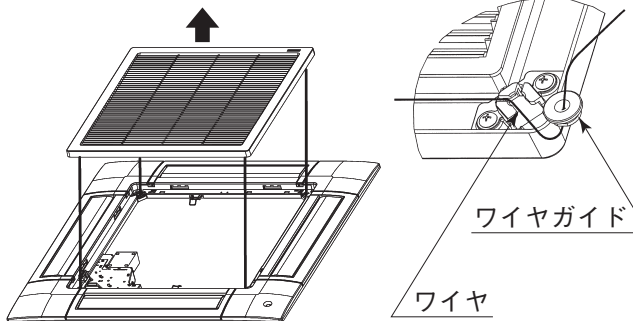


<ラクリーナパネルの場合>

1. 吸込グリルを少し持ち上げて、吸込グリルを開けます。
2. 吸込グリルの4コーナに取付けてあるワイヤガイドを外側にスライドさせて外してください。

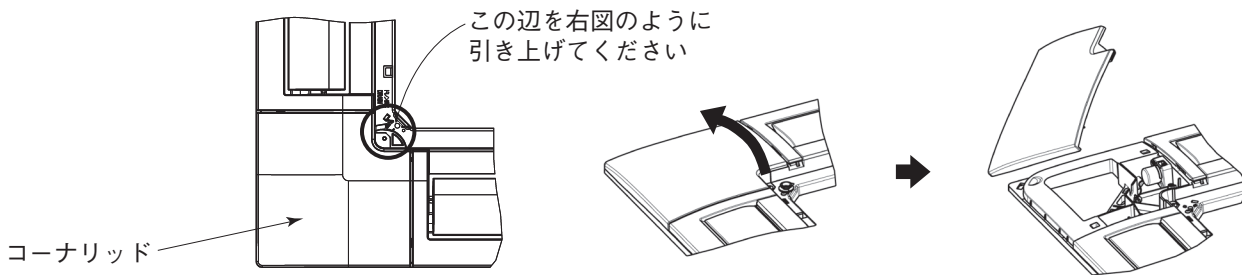
ご注意

吸込グリルはゆっくり持ち上げてください。
ワイヤおよびワイヤガイドが破損する恐れがあります。



④ コーナリッドの取外し

- ・コーナリッドを矢印の方向へ引き上げて取外してください。(4コーナとも)

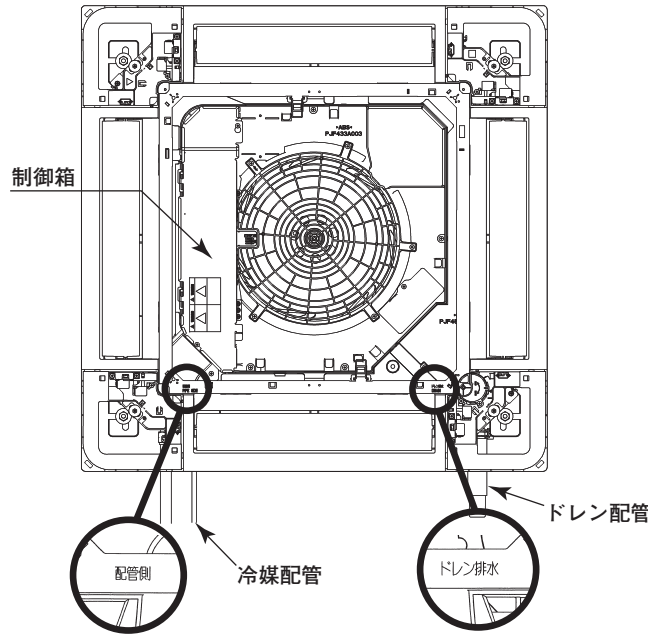


⑤ パネルの取付け方向

- ・パネルの取付け方向は室内ユニットに対し方向性があります。
- ・パネルは、右図に示す方向で取付けてください。
- ・パネル吸込部の「ドレン排水」と室内ユニットのドレン配管の位置を合わせてください。
- ・パネル吸込部の「配管側」と室内ユニットの冷媒配管の位置を合わせてください。

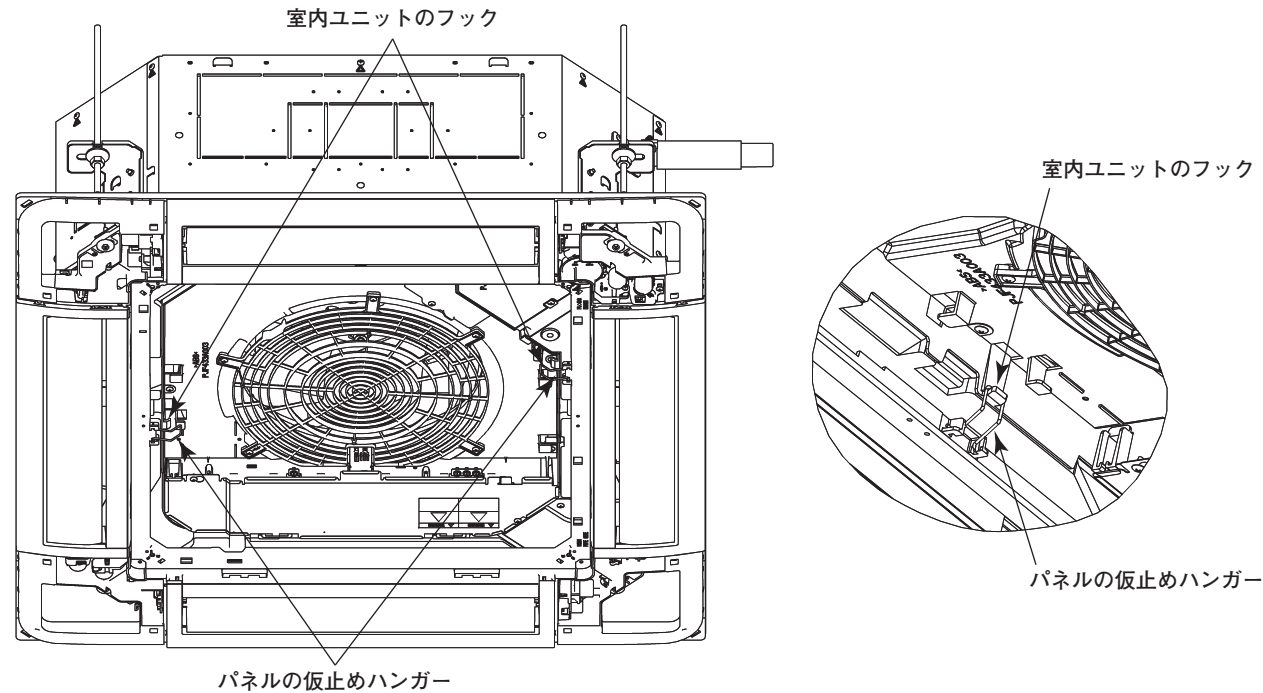
ご注意

- ・右図以外の方向で取付けると、風漏れの原因となり、また電気配線の接続ができません。

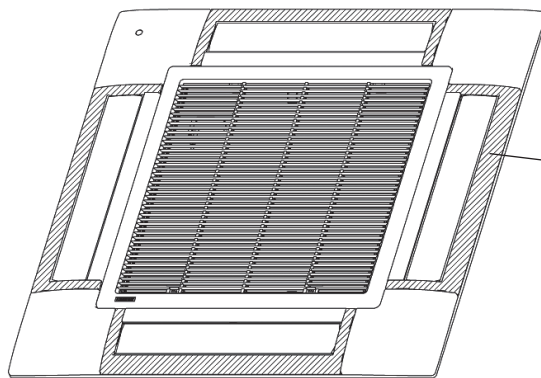


⑥ パネルの取付け

1. パネルの仮止め
 - ・パネルの仮止め用ハンガーを起こします。(2ヶ所)
 - ・パネルの仮止め用ハンガーを室内ユニットのフックにかけて、パネルを室内ユニットに吊るします。



パネルの仮止めハンガー



標準パネル以外の場合、斜線部(4ヶ所)は可動します。
手で無理に動かすと破損します。
標準パネルの場合もパネル本体とは別部品ですが、
取外すことはできません。

ご注意

- ・パネルの吹出口周囲のエアフレックス(斜線部)は別部品です。パネルを持つ際は取扱いに注意してください。
特に、エアフレックスパネル、ラクリーナパネルの斜線部は可動します。手で無理に動かすと破損します。

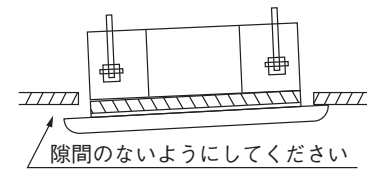
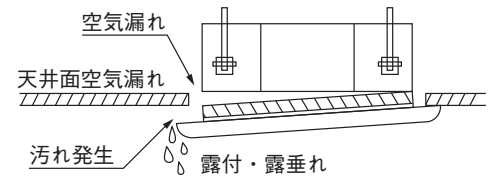
2. パネルの室内ユニットへの固定

- ・付属のパネル取付け用ボルト4本を用いて、室内ユニットに締め付けてください。

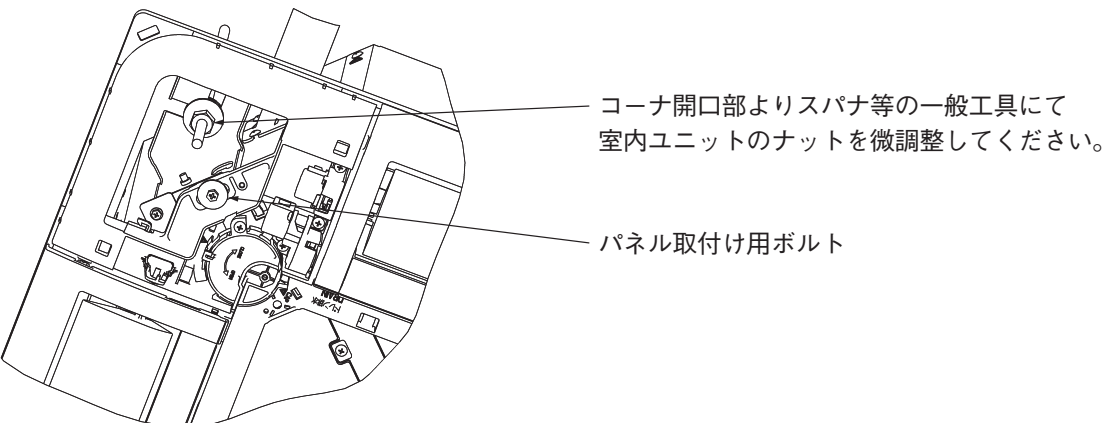
ご注意

- ・吊りボルトの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締め込んでください。

- ・吊りボルトを締め込んでも天井面とパネルとの間に隙間ができる場合は、室内ユニットの高さを再調整してください。



- ・室内ユニットの水平度、ドレン配管などに影響がでない程度であればパネルを取付けたまま、室内ユニットの据付け高さを微調整できます。

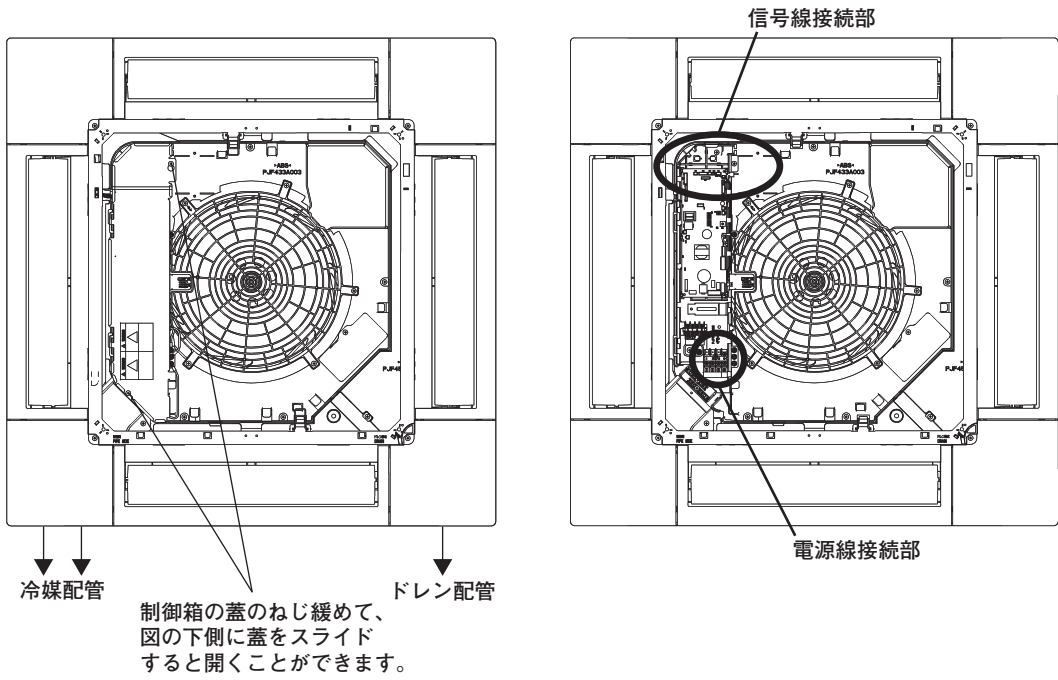


ご注意

- ・パネル取付けの際、パネルに無理な荷重がかからないよう、室内ユニット据付け高さを調整してください。
パネルが変形し、吸込グリル、エアフレックス部品が収まらないおそれがあります。

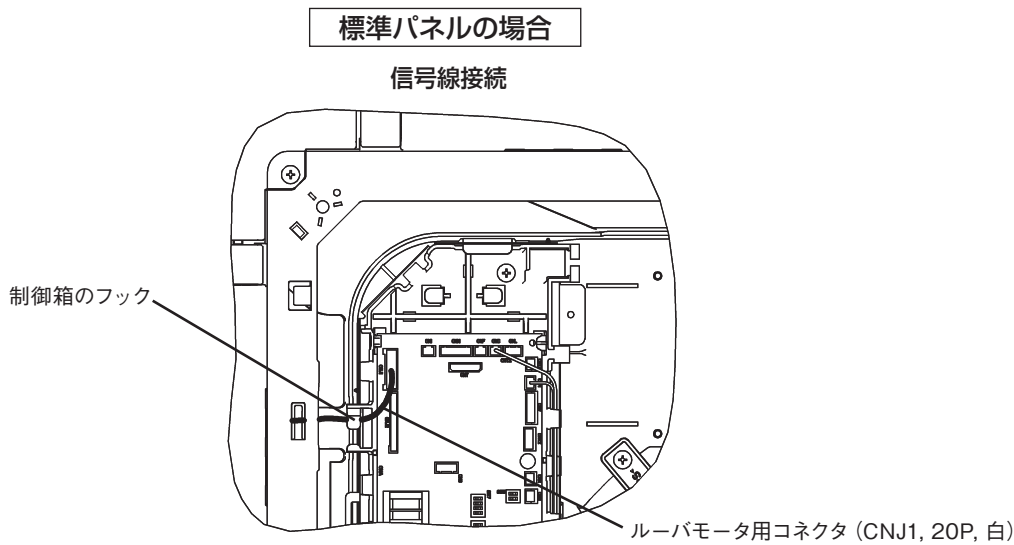
⑦ 電気配線

パネルの種類により、配線処理が異なります。パネルの種類にあわせて配線処理を行ってください。
室内ユニットの接続位置はパネルの種類によらず下図のとおり同じです。



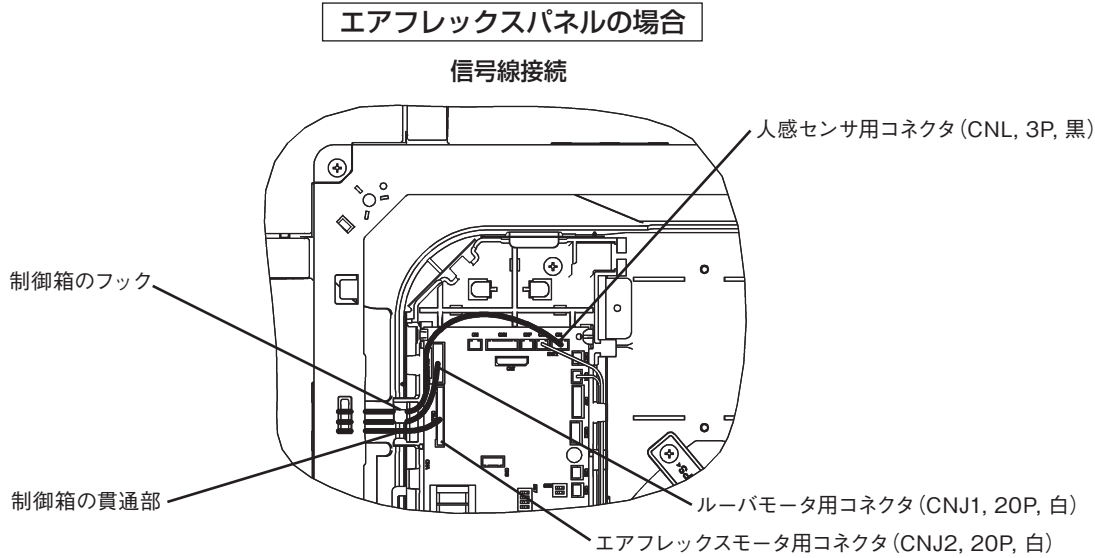
＜標準パネルの場合＞

1. 室内ユニットの制御箱の蓋のねじ（2本）を緩め、蓋をスライドして取外してください。
2. ルーバモータ線（20線）を制御箱のフックに通し、コネクタCNJ1（20P,白）を接続してください。
3. 室内ユニットの制御箱の蓋を取付け、ねじ（2本）を締付けてください。



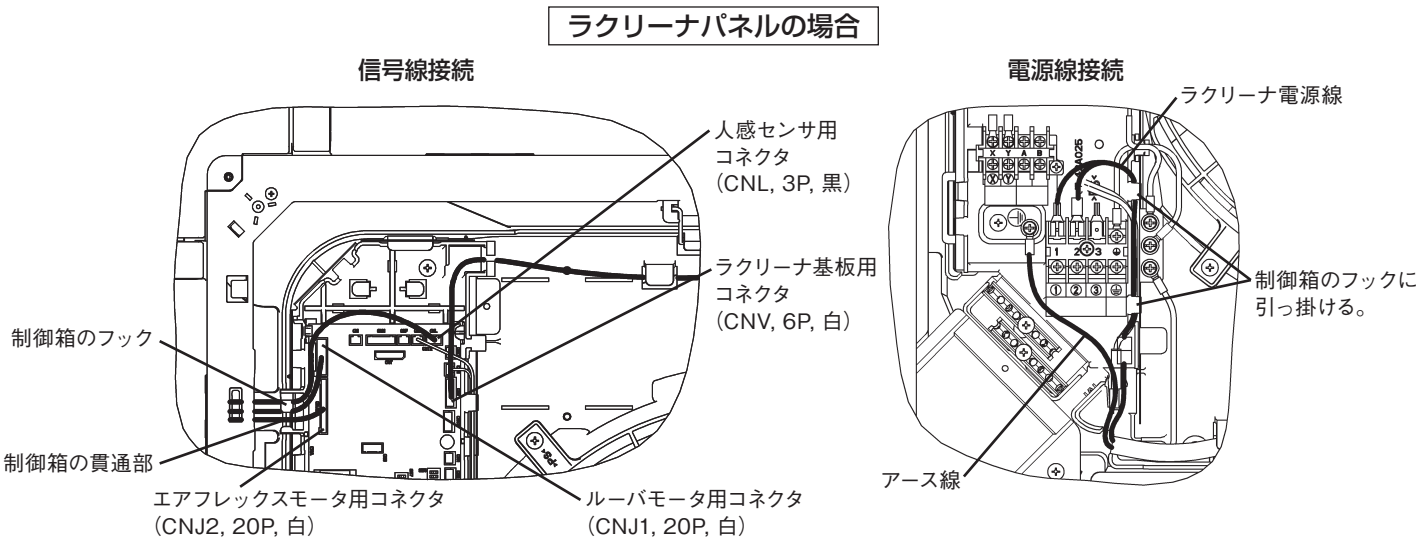
＜エアフレックスパネルの場合＞

1. 室内ユニットの制御箱の蓋のねじ（2本）を緩め、蓋をスライドして取外してください。
2. ルーバモータ線（20線）を制御箱のフックに通し、コネクタCNJ1（20P,白）を接続してください。
3. エアフレックスモータ線（20線）を制御箱のフックに通し、コネクタCNJ2（20P,白）を接続してください。
4. 人感センサ線（3線）を制御箱の貫通部に通し、コネクタCNL（3P,黒）を接続してください。
5. 室内ユニットの制御箱の蓋を取付け、ねじ（2本）を締付けてください。



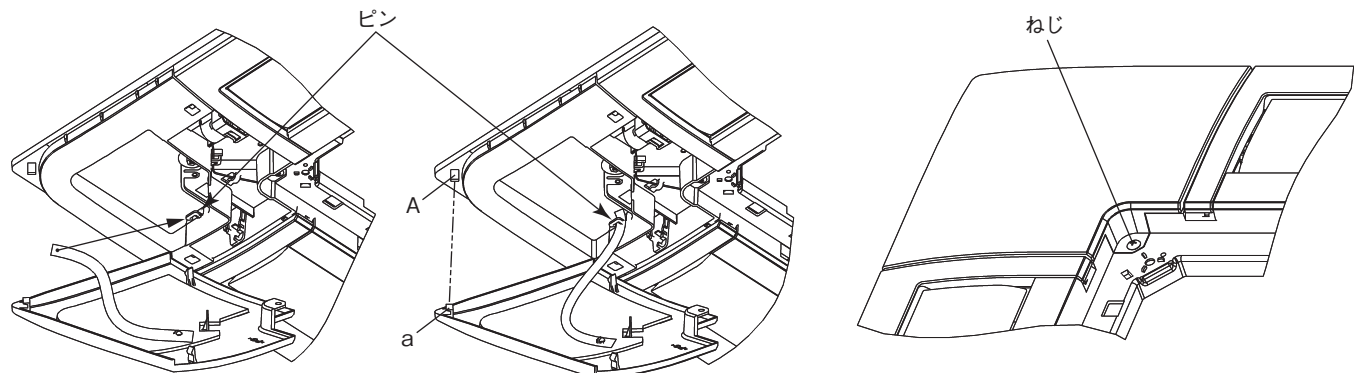
＜ラクリーナパネルの場合＞

1. 室内ユニットの制御箱の蓋のねじ（2本）を緩め、蓋をスライドして取外してください。
2. ルーバモータ線（20線）を制御箱のフックに通し、コネクタCNJ1（20P,白）を接続してください。
3. エアフレックスモータ線（20線）を制御箱のフックに通し、コネクタCNJ2（20P,白）を接続してください。
4. 人感センサ線（3線）を制御箱の貫通部に通し、コネクタCNL（3P,黒）を接続してください。
5. 電源線のファストン端子を室内ユニットの電源端子台の1番、2番に挿入してください。
6. アース線[緑]を室内ユニット制御箱の④に接続してください。
7. ラクリーナ基板用信号線（6線）を室内ユニット制御箱内の基板のコネクタCNV（6P,白）に接続してください。
8. 室内ユニットの制御箱の蓋を取付け、ねじ（2本）を締付けてください。



⑧ コーナリッドの取付け

1. 付属のコーナリッド落下防止用ストラップをコーナリッドのピンに折り返して引っ掛けてください。
2. コーナリッドに取付けたストラップの反対側をパネルのピンに引っ掛けてください。
3. コーナリッドのa部をパネルのA部に挿入してから、コーナリッドのつめ2ヶ所をはめてください。
4. 付属のねじで固定してください。



⑨ 吸込グリルの取付け

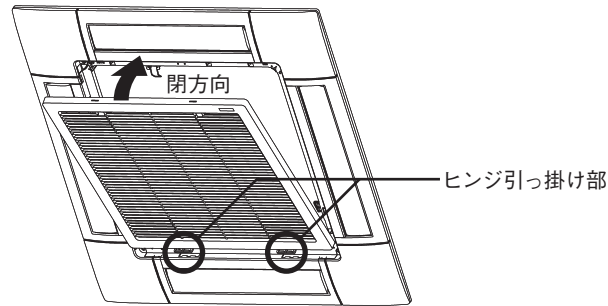
パネルと吸込グリルには方向性がありません。

＜標準パネル、エアフレックスパネルの場合＞

吸込グリルの取付け方は⑨ 吸込グリルの取外し の手順を逆に作業してください。

1. 吸込グリルのヒンジをパネルのヒンジ挿入穴に取付けてください。（吸込グリルのヒンジは4辺どこでも取付け可能です。）
2. 吸込グリルのヒンジを取付け後、ストッパー（2ヶ所）を「OPEN」の方向へ押したまま、閉じてください。両方のストッパーから「カチッ」と音がしたことを確認してください。

＜取付け＞



ご注意

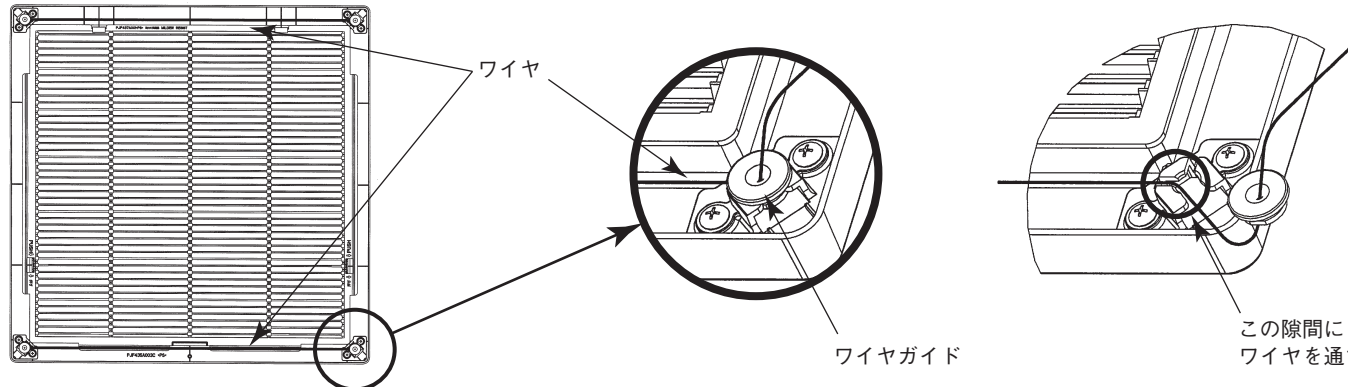
- ・吸込グリルの取付けは、必ずヒンジ側から行ってください。
- ・吸込グリルは確実に取付けてください。取付けが不十分ですと落下する恐れがあります。
- ・ストッパーが変形・破損した場合は、速やかに修理依頼し、交換してください。吸込グリルが落下する恐れがあります。

＜ラクリーナパネルの場合＞

1. 吸込グリルの方向を決定してください。
2. ワイヤを通してあるワイヤガイドを吸込グリルの4コーナの取付け部に固定して装着します。
3. ワイヤガイドを吸込グリルに外側から内側にスライドさせながら装着してください。装着の際、取付け部の隙間をワイヤが通過するようにワイヤの向きに注意して確実に取付けてください。
4. ワイヤガイド装着後、ワイヤの曲がり、ねじり、噛み込みがないことを確認してください。

ご注意

ワイヤガイドは確実に装着してください。確実に装着されていないと、吸込グリルを昇降できなくなったり、吸込グリルが落下する恐れがあります。



⑩ パネルの設定

＜ルーバの動作範囲設定（フリーフロー設定）＞

ワイヤードリモコンを使用することで、吹出口のルーバの動作範囲を変更することができます。本モードで上限位置と下限位置を設定すると、ルーバは設定された上限位置と下限位置の間で動作します。各ルーバ毎に個別の動作範囲の設定が可能です。

＜エアフレックスの設定（ドラフト防止設定）＞

エアフレックスパネル、ラクリーナパネルを取付け、配線接続をするだけではエアフレックスは作動しません。エアフレックスを作動させるために、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、ドラフト防止設定を有効にしてください。（ワイヤードリモコンRC-DX2、RC-D4G以前、ワイヤレスリモコンRCN-D3G以前のリモコンでは設定できません。）本モードで有効に設定すると運転開始時にエアフレックスが作動し、運転中は常時エアフレックスが開いています。また、停止時にエアフレックスは閉じます。各吹出口毎に有効/無効の設定が可能です。設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。

＜人感センサの設定（赤外線センサー設定）＞

エアフレックスパネル、ラクリーナパネルを取付け、配線接続をするだけでは人感センサは機能しません。人感センサを機能させるために、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、赤外線センサー設定を有効にしてください。（ワイヤードリモコンRC-DX2、RC-D4G以前、ワイヤレスリモコンRCN-D3G以前のリモコンでは設定できません。）設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。

＜吸込グリル昇降の設定（グリル昇降操作）＞

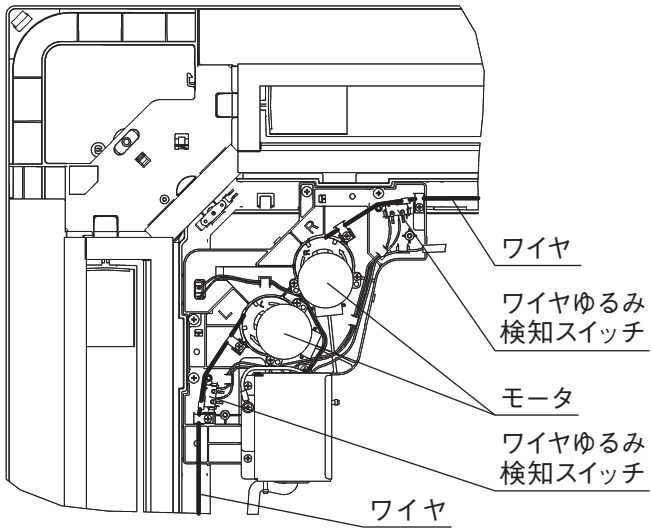
ラクリーナパネルを取付け、配線接続をするだけでは吸込グリルの昇降はできません。吸込グリルの昇降を可能にするために、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、吸込グリル昇降を有効にしてください。設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。

＜吸込グリル下降長さの設定（降下長設定）＞

吸込グリルの下降長さをお好みの下降長さに設定することができます。工場出荷時は2mに設定されています。お好みの下降長さにしたい場合は、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、吸込グリルの下降長さを設定してください。設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。

ご注意

＜ワイヤゆるみ検知機構について＞
ラクリーナパネルには、ワイヤの絡まり防止のため、「ワイヤゆるみ検知機構」を装備しています。吸込グリルを吊ったワイヤがゆるんだ場合、ワイヤゆるみ検知スイッチが働き、自動昇降用モータが自動停止します。パネル据付け後、グリルが動かない場合、「ワイヤゆるみ検知機構」が作動している可能性がありますので、据付け時にワイヤの噛み込み、絡まり等が無いが、ワイヤ経路をご確認ください。



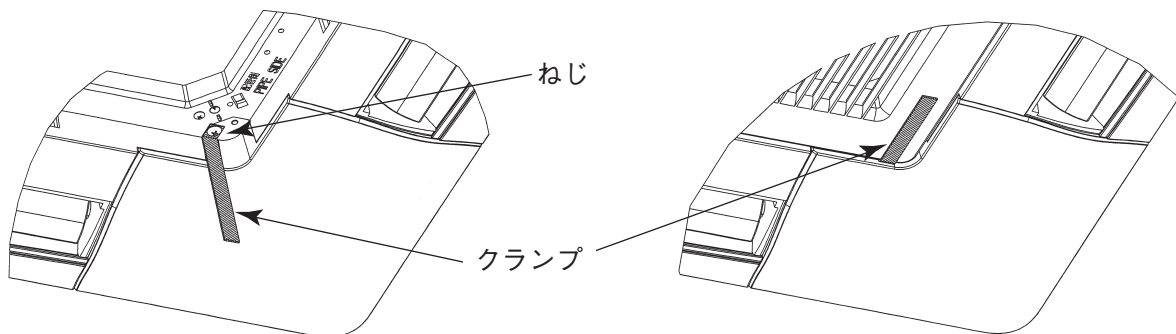
⑪ 電源投入前の吸込グリルの仮固定 ＜ラクリーナパネル＞

電源投入前は吸込グリルの自動昇降はできません。

1. 電源投入前に吸込グリルを収納したい場合は、付属のクランプで吸込グリルを仮止めすることができます。
2. パネルの4コーナに付属のクランプを図のようにねじ止めしてください。（4コーナとも）
3. ワイヤを折り曲げたり、かみ込んだりしないように注意しながら、持ち上げパネルに収納してください。
4. 取付けたクランプを図のように吸込グリル側に折り曲げ、吸込グリルを固定してください。

ご注意

クランプを装着したまま昇降動作を行った場合、吸込グリルの昇降装置が故障する恐れがあります。



5. 仮固定が終わったら、クランプを取外した上で、コーナリッドをねじ止めしてください。